

月白き師走は子路が寝覚めかな

松尾芭蕉

師走の月は凜として冴えわたる。その一点の曇りもない白く澄みわたった師走の月は、あの孔子の弟子子路の心にも似た 真っ直ぐな想いを表しているような気がするのだ。

師走の満月は、『コールドムーン』と呼ぶそうです。12月11日夕刻、東の空にまん丸の綺麗な月の姿がありました。澄み渡った空に、凜と、まぶしいほど輝いていました。

「お月様の中に、何が見える？うさぎが見える？」という絵美子先生の問いかけに、延長保育の子供は、「うさぎがダンスしてる。」「カニかなあ？」「あ、大根や！」「大根といえば、お鍋がいいなあ・・・。』とは、私の心の声。部屋に戻ると今度は好きな食べ物の話。そうこうするうちに保護者が、駐車場から一生懸命、息を切らしながらお迎えに来られました。子供は若干ニヤツとした表情。そしてしっかりした口調で「さようなら」のご挨拶。「今日はこれから注射いくねん。」「じゃあ、ご褒美に大好きなカラアゲいっぱい食べてね。」と送り出す絵美子先生。

子供は、幼稚園での生活をとっても楽しんでいるように思います。が、家庭でお母さんお父さんと過ごす時間は、とってもとっても大切な時間です。子供たちも、夕刻、暗くなると、何となく不安げになり、保護者も気ぜわしくなられることでしょう。『冬至10日過ぎれば〇〇・・・。』ということわざもあり、夕刻も少し明るくなってきます。あともう少しですね。

当園では、毎日個人送迎のご協力を頂いています。延長保育の有無に関わらず、「迎えに来てくれてありがとう。」「待っていてくれてありがとう。」を合言葉にされては如何でしょう。四季の移り変わりや、昼夜の長さが違うことも、親子で感じ、寒い日には、親子でしっかりと手をつないで歩いて下さい。幼児期にしかできない貴重な体験と貴重な時間です。親業をしていて、しんどいなあと感じる時があるのは当然です。しかし、親の人生にとっても、『わが子の幼児期は宝物』です。

柴田の予言：見過ごさず、しっかりじっくりと向き合くと、時間がたてば、大きな素敵な宝物になるでしょう。（信じる者こそ救われる！！《笑》）

さて、今年も、皆様方には、ひかり幼稚園のすべての教育活動に多大なるご理解とご協力いただきましたこと、本当に感謝申し上げます。来年も元気な子どもたち、皆様方にお会いできますことを楽しみにしております。

来年もどうぞ宜しくお願い致します。皆様のお幸をお祈りしております。